



## 素敵な挨拶があふれる学校

教務主任 豊岡 篤

「豊岡先生、おはようございます」、玄関や廊下で子どもたちに会うと元気に挨拶をしてくれます。私も「〇〇さん、おはよう」「挨拶してくれてありがとう」と返事をします。

今年度から教務主任という仕事につき、様々なクラスで授業をしたり、自習の様子を見に行ったりすることで、たくさん子どもたちに顔と名前を覚えてもらうことができました。そのおかげもあり、これまで以上に挨拶してくれる子どもも多くなりました。私も子どもたちに負けないように、すれ違う子どもたちに声を掛けています。ある時、昼休み中に「豊岡先生、おはようございます!」と声を掛けてくる子がいました。どうやらわざと「おはようございます」と挨拶したようです。そのにこにこした顔を見て、私も「もう、こんにちにはじゃないの?」と笑顔で返しました。少しふざけたように言うことで、その子なりにコミュニケーションを取ろうと考えたのかな、と思いました。そんな些細な挨拶のやり取りを通して心が温かくなりました。ちなみに、「おはようございます」「こんにちは」の境界線をご存知でしょうか。調べてみると、NHKでは10時までは「おはようございます」と挨拶をするそうです。これは、2002年に行われた調査(NHK放送文化研究所実施)の中で、10時に「おはようございます」と言うことに違和感を感じる人が調査の3分の1を占めた結果だそうです。「秘書技能検定試験」でも、10時まで「おはようございます」と挨拶することになっています(※実務技能検定協会)。また、百貨店などの接客業では11時まで使うことが多いそうです(※日本文化研究クラブHPより)。さらに、出勤時間が分かれるサービス業で働く人の場合、何時であっても「お早い時間からご苦労様です」の意味を込めて、出勤時に「おはようございます」と挨拶をするそうです(※ten職 restaurantHPより)。つまり、立場や場所、挨拶する相手によって様々であることが分かります。では、学校ではどうでしょうか?私が13時頃に「もう、こんにちにはじゃないの?」と返したことは正しかったのか?何時からこんにちはと言ったら良いのか?結局、考えてみても正しい答えは分かりませんでした。つまり、何をお伝えしたいかという、どんな言葉の挨拶であろうと相手に伝えようとする気持ちと、それを示す態度が大切だと言うことです。子どもたちには、挨拶の仕方として「はっきりとした声で」「相手を見て」「自分から進んで」挨拶をしよう、と指導することがあります。これは、相手に伝えようとする態度を示すためです。さらに、「今日もがんばろうね」「私は元気です」「あなたの調子はどう?」といった、相手を思う心が加わることで素敵な挨拶になると思います。13時に「おはようございます」と挨拶した子も、この心と態度ができていたから私の心が温かくなったのだと思います。

下山小学校は、重点目標「みんなが楽しい学校」を目指して、挨拶運動にも力を入れています。クラス、学年、学校全体でそれぞれ挨拶指導を行っています。今年度が始まり3か月が経ち、その成果が着実に現れています。朝は、様々なクラスが挨拶の旗をもって児童玄関で元気に挨拶をしています。修学旅行や自然教室では、お世話になった人、その場で出会った人に素敵な挨拶をしていました。帰りに職員室前を通るとき、「先生さようなら」と声を掛けて行く子どもたくさんいます。これからも、素敵な挨拶があふれる下山小学校を目指して教育活動を進めていきます。ぜひ、学校や地域で子どもたちが挨拶をした際には、温かな声を掛けていただけるとありがたいです。

## 6年1組

僕の心に残った思い出は、二つあります。一つ目は、たらい舟に乗ったことです。初めは、舟が揺れないか少し不安でしたが、いざ乗ってみると全然揺れず、とてもゆったりとした気分になり、落ち着きました。二つ目は、ホテルに泊まったことです。買い物で佐渡のお土産を買うのはとても楽しかったです。また、寝る前のおしゃべりなども楽しかったです。また、いつか佐渡に行ってみたいと思います。

## 6年2組

私は佐渡体験教室を通して、佐渡の魅力をたくさん知ることができました。バスでの移動中に、バスガイドさんが色々なことを話してくれました。人の顔に似ている岩の話や、佐渡にあるカンゾウの花の話など、初めて聞くことばかりで楽しかったです。佐渡といえば、トキや金山、たらい舟などのイメージでしたが、2日間で他にもたくさん魅力があることを知り、イメージも変わりました。さらに学習を深め、もっと佐渡のことを知りたいと思います。



## 6年3組

私は佐渡体験教室でたらい舟と太鼓体験をしました。印象に残ったことは二つあります。一つ目は、佐渡の替え歌を歌いながら、講師のみかさんと小太鼓をたたいたことが印象に残りました。小太鼓で、リズムに乗ってみんなでたたくのが楽しかったです。二つ目は、たらい舟です。乗った時すごく怖かったけど、乗ることができました。左右に揺れて怖かったけど、だんだん怖さがぬけていきました。

## 6年4組

ぼくは、佐渡体験教室を通し、分かったことが二つあります。一つ目は佐渡の文化についてです。ぼくは、南佐渡文化体験コースで、たらい舟が明治時代頃から伝承されてきたことや、佐渡太鼓を実際にたたいてみて、佐渡の文化のすばらしさを知ることができました。二つ目は佐渡の景観についてです。金銀山や宿根木、トキの森公園など、佐渡にはさまざまな景観があります。これらの景観は、佐渡の人々が苦労して守ってきたことが分かりました。これからも、景観や文化を末永く守ってほしいなと思いました。世界文化遺産への推薦も決定したので、佐渡の魅力をぼくも多くの人に伝えていきたいと思いました。



## 5年1組

自然教室に行き、焼杉板の体験をしました。火をつける時、1本目のマッチはすぐに消えてしまいました。2本目のマッチは、しっかりつきました。松葉を少し多く入れたら、すごくよく燃えました。松葉はよく燃えたけれども、木になかなか火が付きませんでした。困っていたら、友達が「下に入れるといいよ。」と教えてくれて、すごく助かりました。杉板は、とてもいい感じに焼けました。焼いた後は、ブラシで磨いて布でふいたら、もようがよい感じにできました。とてもかっこよく焼杉板の作品ができました。

## 5年2組

オリエンテーリングで、いつもあまり話さない人とも話せてよかったです。それに、みんなでどこに行くか話し合っていたので、ポイントのある場所にいっぱい行けました。また、友達とかかわるよさも学びました。つかれた人や足をいためた人がいたら、すぐに周りの人が声をかけていました。ぼくは、そんな人がたくさんいて、「友達っていいな。」と、すごく思いました。これからも友達を大切にしていきたいです。



## 5年3組

私が自然教室で楽しかったことは、グラウンドゴルフです。他のクラスのみんなども仲良く、楽しくできて、おもしろかったです。特に楽しかったことは、少ない数でゴールに入ったことと、最初に打った時にゴールの近くでボールが止まったことです。ホールインワンはできなかったけど、少ない数でゴールに入れられたことがうれしかったです。グループの人の持っていたドライバーの向きがちがっていたので、教えてあげました。自然教室での最高の思い出になりました。

## 5年4組

ぼくが自然教室の中で一番楽しくて、またやりたいたいと思ったのは、カヌーです。カヌーに乗ったときのゆるやかなゆれが気持ちよかったです。カヌーをしん重にこぎながら進み、橋の下をくぐることができました。とても楽しかったです。また、友達と力を合わせて、カヌーの水を抜くなど片付けをするのも、協力して動くのが好きなぼくには、楽しかったところです。カヌーが大好きになりました。また乗ってみたいです。

